

CIR通信

大豊町の皆さまへ、感謝をこめて

この度、任期満了に伴い大豊町での CIR（国際交流員）業務を終えることとなりました。在任中、町の皆さまに温かく迎え、支えていただいたことに、心より感謝申し上げます。

私が大豊町を離れるのは、私は一人っ子で、これからは両親のそばで孝行を果たしたいと考えようになったためです。名残惜しい気持ちでいっぱいですが、自分の原点である家族との時間を大切にしたいと思い、この決断に至りました。

大豊町で過ごした日々は、自然の美しさはもちろん、皆さまの優しさと温かさに支えられた、かけがえのない時間でした。行事での交流や日々の挨拶、職場での励ましなど、一つひとつの出会いが私の大切な学びとなりました。

また、毎月の記事や活動を通して、少しでもドイツの文化をお伝えする機会をいただけたことは、大きな喜びであり誇りでした。

さらにこの場をお借りして、高知県内の ALT の友達、そして全国のドイツ人 CIR の仲間たちにも深く感謝をお伝えしたいと思います。皆さんと過ごした時間、そして仲間たちが開催してくれた送別会での温かいひとときは、一生忘れられない思い出です。

大豊町での経験を胸に、これからも前に進んでいきます。皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りし、最後のご挨拶とさせていただきます。

With gratitude and warmest wishes from the bottom of my heart.Danke für alles.

プッハルスキ ニック アレクサンダー



プッハルスキさんの今後のご活躍をご期待申し上げます。ありがとうございました。



プッハルスキさんの国際交流活動に対し感謝の意を表し、大豊町長から感謝状を贈呈しました。



教育委員会だより

12月16日、大杉、豊永両保育所の年長さんと、大豊学園1年生とで、おいもパーティーを開催しました。

5月に一緒に植えたサツマイモ。たくさん収穫できたので、それを使って一緒に調理し、一緒に味わいました。メニューはスイートポテトとスムージーです。

1年生1人に年長さん3人ずつの4つの班に分かれて作業を行いました。1年生は事前にしっかり練習をしていたようで、年長さんに手順やちょっとしたコツを教えてあげていました。

一つ一つの工程が、子どもたちにとってはドキドキワクワクの連続。まるで冒険でもしているかのような表情で作業を進めているのが印象的でした。



駅伝大会

12月18日には、7～9年生による駅伝大会が開かれました。

農村広場を出発して歩道橋の手前で折り返す周回コースを1チーム15周走り、順位だけでなくどれだけ予想タイムに近いタイムで走れるかも競いました。



欠席などもあり何周も走らなければならない人もいましたが、すばらしい天候のもと、園児の声援も受け子どもたちは一生懸命自分の力を出し切って走ることができました。

応援に来てくださった皆さま、ありがとうございました。

